



六郷

～元気に輝いて～

令和6年度
第104号
2025.2.26

子どもたちの経験を深める、外部講師から教わる体験活動④

【4年「福祉体験学習」(講師:「優モアかいんど」〇〇さん・社会福祉協議会職員の方々)】

25日に、4年生は、「優モアかいんど」〇〇〇〇さんと社会福祉協議会から4名の講師の方々をお招きして、福祉体験学習を行いました。子どもたちは、高齢者疑似体験(目隠しや手足に重りなどを装着して、高齢者の日常生活動作を体感する体験)と車椅子体験を行いました。



高齢者疑似体験では、高齢者にとって体が思うように動かなかったり見えにくかったりすることが、いかに不安なことであるかを感じることができた子どもたち。その不安を少しでも取り除いてあげようと、優しく声を掛けたり手を取ってあげたりする様子が見られました。また、車椅子体験では、いざ自分が車椅子に乗ってみると、ちょっとした衝撃に怖さを感じたり、マットのような不安定なところを移動することが大変だったりすることを実感することができました。

今回の貴重な体験を通して、相手の立場に立って優しく接することや積極的に声を掛けてコミュニケーションを取ることが大切であると学ぶことができた4年生。この経験を今後の生活の中で、ぜひ役に立ててほしいものです。



【子どもたちの感想から】

- ・車椅子体験では、マットの段差をのりこえるとき少しこわかったです。急なカーブもちょっとこわかったです。ぎじ体験では、おじいちゃんやおばあちゃんは、こんな感じなんだとわかったので、手助けしてあげたいです。
- ・車椅子に一人で乗っているとき、なれている人やなれていない人も高い段差は上れないので、優しく声をかけながら手伝ってあげたいです。私はじっちゃんの手を助けてあげたことがあるので、そのころのことを思い出して、町で見かけたら、助けてあげたいです。
- ・実際にバンダナで目をかくしてはどうしてみると、どこに物があるかまったくわからなくて大変でした。この体験で目が見えない人の大変さがわかったので、もし出会ったらサポートしてあげたいです。